

JAGUAR

tcs

RACING

2022 年 5 月 2 日

ジャガー-TCS レーシング、フォーミュラ E 世界選手権シーズン 8
第 6 戦 モナコ・グランプリ
ミッチ・エバンスがポールポジションのスタートから 2 位で表彰台を獲得



- モナコで開催された ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 8 の第 6 戦に出場
- ミッチ・エバンスがポールポジションからスタートし、2 位で表彰台を獲得
- サム・バードは衝突によりレース序盤でリタイア
- ミッチ・エバンスはトップとわずが 9 ポイント差でドライバーズ・ランキング 3 位に浮上。サム・バードは 12 位
- ジャガー-TCS レーシングはチーム・ランキングで 3 位に浮上
- 第 7 戦、第 8 戦は 2022 年 5 月 14 日、15 日 (現地時間) にベルリンのテンペルホフ・サーキットにて開幕
- ジャガー-TCS レーシングのエンジニアリングチームは各レース用にソフトウェアを改良・開発し、ドライバーが最高のパフォーマンスを発揮できるよう支援

2022 年 4 月 30 日 モナコ公国 モンテカルロ発 : ジャガー-TCS レーシングは、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 シーズン 8 の第 6 戦に出走し、ミッチ・エバンスが自身 3 度目となるポールポジションを獲得し、2 位でフィニッシュしました。

クオリファイ・セッションでグループ B のトップに躍り出たミッチ・エバンスは、すべてのデュエルを通過して決勝に進み、1 番グリッドからスタートしました。

tcs TATA
CONSULTANCY
SERVICES

AMM
AUTOMOTIVE

Dow

Castrol

MICRO
FOCUS



Artemis

JAGUAR

tcs

RACING

モナコの日差しの下、ミッチ・エバンスはレース序盤の 20 分間、トップの座をキープしていましたが、後続車を引き離すために貴重なエネルギーを消耗し、レース後半はエネルギー回復に専念することを余儀なくされました。しかし、レース終盤は、アタックモードを駆使した戦略的なオーバーテイクで「I-TYPE 5」の速さを見せつけ、ジャン・エリック・ベルニュ(DS テチータ)を追い抜いて 2 位でフィニッシュし、表彰台を獲得しました。

チームメイトのサム・バードは、0.01 秒差で惜しくもクォーターファイナル進出を逃し、13 番グリッドからのスタートとなります。小さな接触によってトラックロードが破損し、レース開始 13 分でリタイヤという不運に見舞われました。

ドライバーズ・ランキングでは、第 6 戦が終わり、ミッチ・エバンスはトップとわずか 9 ポイント差の 3 位に浮上し、サム・バードは 12 位につけています。チーム・ランキングでは、ジャガー-TCS レーシングは 3 位につけています。

ジャガー-TCS レーシングは、2022 年 5 月 14 日、15 日にテンペルホフ・サーキットで開催される ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権第シーズン 8 第 7 戦、8 戦 ベルリン・グランプリに挑みます。

なお、ジャガー-TCS レーシングのエンジニアリングチームは、シーズン 8 の世界各地のレース開催地特有のコンディションに適したキャリブレーションを提供するため、あらゆるパラメータを徹底的に最適化し、前のレースから学んだことを取り入れ、わずかな改善もすべて活用できるよう、「I-TYPE 5」に搭載しているソフトウェアを、すべてのサーキットごとに開発しています。

世界最先端の HIL (Hardware-in-the-Loop) と DIL (Driver-in-the-Loop) シミュレーターを使用して、レース間の限られた時間の中で開発をおこなっています。これまで、ディリア、メキシコ、ローマで 36TB 以上のデータが収集され、そこから学習したものを今回のモナコ用のソフトウェアに統合し、ドライバーが最高のパフォーマンスを発揮できるよう支援します。この反復的かつ徹底的な最適化プロセスは、フォーミュラ E シーズンの最終戦であるソウルまで継続していきます。

ジャガー-TCS レーシングのチーム・プリンシパルであるジェームズ・パークレーのコメント:

「モナコでは良い 1 日を過ごすことができました。モナコを象徴する市街地コースでのポールポジション、そして 2 位で表彰台を獲得できたことを誇りに思います。ミッチはクオリアファイ・セッションで完璧な走りを見せてくれました。そして、モナコでポールポジションを獲得するということには特別な思いがあります。ミッチは素晴らしいスタートを切ってレースをリードしましたが、結果、それが後続のレースカーにとって有利に働くことになってしまいました。ミッチとチームが非常に緊迫したレースをうまくコントロールして 2 位まで順位を挽回したことは非常に良い結果と言えます。ほんのわずかな差でデュエル進出を逃してしまったサムにとって今回のレースは難しいものになってしまいました。ベルリンでは強くなって戻ってきてくれると信じています。モナコでは、第 3 世代 (Gen3) のレースカーの発表、大きなポイント獲得、そしてモナコでの表彰台と、素晴らしいことが重なった 1 週間となりました。」



JAGUAR

tcs

RACING

ドライバー、ミッチ・エバンスのコメント:

「ポールポジションからスタートすることができたので、今日はどうしても勝ちたかったです。ローマでは『I-TYPE 5』の驚くべき能力を引き出すことができたので、ここモナコでも再現したいと思っていました。残念ながらエネルギー不足により優勝を勝ち取ることはできませんでしたが、それでも2位という結果は、僕にとってもチームにとっても貴重なポイントとなりました。」

ドライバー、サム・バードのコメント:

「今日はついていませんでした。残念ながら、ちょっとした接触によりトラックロッドが壊れてしまいました。モナコを離れてリセットし、ベルリンではもっと強くなって戻ってきます。」

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが2022年4月30日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

エディタース・ノート

ジャガーTCSレーシングについて

ジャガーは2016年10月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権のシーズン7では、チーム・ランキングで2位を獲得し、これはジャガーのフォーミュラ E 史上過去最高の成功となりました。

フォーミュラ E は、2025年からピュア EV のラグジュアリー・ブランドとなることを目指すジャガーの現実世界におけるテストベッドです。ジャガーTCSレーシングは、ジャガー・ランドローバーの「REIMAGINE」戦略をサポートするため、新しいサステナブル(持続可能)なテクノロジーを提供し、品質における新しい基準を作り出します。

ジャガーTCSレーシングの目標は、「Reimagine Racing(レースの再構築)」であり、テスト、開発、学習、協力、共有を行い、ジャガー・ランドローバー全体へ知見を共有することで、将来の市販車開発に役立てることです。特に、フォーミュラ E で培った知見と技術の移転は、ジャガー・ブランドの再構築に役立ち、フォーミュラ E Gen3 時代へのコミットメントと合致します。

フォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、ジャガーTCSレーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全11チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバーのフルバッテリー電気自動車(BEV)のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

フォーミュラ E の2021/22年シーズンは、国際自動車連盟(FIA)主催の世界選手権ステータスとなって迎える2回目のシーズンとなり、各チームにとって、「Generation 2」のレースマシンを使用する4度目の、そして最後の年となります。



JAGUAR

tcs

RACING

各チームは、ドライバー1人につき1台、計2台のレースカーを用意し、45分間プラス1ラップのレースを戦います。

フォーミュラ E は、フルバッテリー電気自動車 (BEV) によるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界においては開催地の選定もユニークです。選手権は世界的大都市を舞台に、特設の公道サーキットで開催され、今シーズンは、ディルイーヤ、メキシコシティ、ローマ、モナコ、ニューヨーク、ロンドンなどを転戦した後、ソウルで週末に行われるダブルヘッダーレースで最終戦を迎える予定です。

ニュージーランド出身のミッチ・エバンスは、8回の表彰台、2回の優勝、1回のポールポジション、そして177ポイントを獲得し、ドライバーズ・ランキング4位、チーム・ランキング2位でシーズン7を終え、過去最高の成功を収めました。イギリス出身のサム・バードは、チームに加入してから参戦した最初のシーズンであり、2回の優勝、3回の表彰台、1回のポールポジションを獲得し、ドライバーズ・ランキング6位という結果を残しました。

Race to Innovate

フォーミュラ E 世界選手権への参戦は引き続き、ジャガー・ランドローバーのグローバル戦略「REIMAGINE」の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一のチャンピオンシップであるフォーミュラ E 世界選手権を通して、ジャガーはハイパフォーマンスが求められる環境で新たな電気自動車テクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げるジャガーにとってテストベッドであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験を市販車へ (Race to Road)、そして市販車からレースへ (Road to Race) と相互に役立てることができます。それこそがジャガーが情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、持続可能性、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

Jaguar PR social channels:

- Jaguar ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarJPN>, @JaguarJPN
- Instagram: <http://www.instagram.com/jaguarjapan>
- YouTube: <https://www.youtube.com/jaguarchanneljp>

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール (フリーダイヤル) 0120-050-689 (9:00~18:00、土日祝日を除く)

